

小中学部

＜充実した体験活動の中で楽しく学び、力をつける＞

1 学部目標

- (1) 障がいに伴う困難を軽減・改善するための知識及び技能の習得と習慣化を図る。
- (2) 学習に必要な基礎的な知識及び技能の習得と課題解決力の育成、生活の中での活用化を図る。
- (3) 集団や社会の中で求められるルールやマナー、規範意識等について計画的、継続的な指導を行い、よりよい生活や人間関係づくりにつながる力を育てる。
- (4) 児童生徒の心身の健康教育と安全教育を推進し、望ましい生活習慣や防災意識の定着を図るなど、自他の生命を大切に作る心を育てる。

2 単一障がい学級

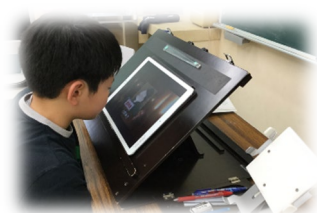
① 各教科

○小・中学校に準じた学習内容の実施。

○児童生徒の実態に応じた教材教具の工夫と ICT を活用した各教科の学力の定着。

○教科書は視力に応じて、点字教科書や文字や図が大きくなっている拡大教科書を使用。

○教科によっては友だちの意見を聞いて考えたり、お互いに協力したりしながら進める合同学習の形態を実施。



タブレット端末を使った学習

② 自立活動

視覚障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識や技能を習得するために設けられている領域です。点字、歩行、触察での学習、体力づくりなど、個人の実態に応じた学習を行っています。



単眼鏡を使った学習

3 重複障がい学級

① 領域・教科を合わせた指導

【日常生活の指導】

児童生徒の日常生活が充実し高まるように、日常生活の諸活動について個々の児童生徒の実態に応じて、幅広く指導しています。例えば着替え、清潔などの基本的な生活習慣の内容から、朝の会や帰りの会でのあいさつや言葉遣いなど、社会での人とのコミュニケーション等です。また、自分の役割をきちんとこなしたり、みんなのために働く喜びを育てたりするための係活動も行なっています。

【生活単元学習】

生活単元学習は、将来の自立的な生活を送るための児童生徒の生活上の課題について、体験的にかつ総合的に学習します。行事、季節に合わせた遊びや調理、造形活動など、見通しを持てるよう配慮しながら学習を進めています。



秋を楽しもう：収穫した芋で調理

【作業学習】＜中学部＞

作業活動を通して勤労の大切さや喜びを感じ、働くことに対する意欲や基礎的な力をつけます。2年生では「職場体験学習」、3年生になると5日間の「産業現場等における実習」を行い、実際に事業所や施設を体験したり実習したりします。



カフェで接客練習

② 教科・領域

【各教科】

国語・算数（数学）・社会・理科・体育（保健体育）・音楽・総合的な学習の時間の中から児童生徒の個性と生活年齢や発達段階等をふまえ、それぞれの課題に応じた学習をしています。日常生活に関係の深い内容を中心に、社会生活に必要な力や、明るく楽しく生活する態度を身につけることをねらいとしています。教科によっては合同学習を行い、お互いに協力しながら、学習しています。



音楽：箏の学習

【自立活動】

自立活動では、健康な体づくりをめざした体育的な活動や一人一人の課題に合わせて、見ること触ることなど発達を促す学習をしています。



4 交流及び共同学習

本人・保護者の希望をもとに、居住地域にある小学校や、他の特別支援学校、近隣中学校との交流及び共同学習を実施しています。どちらも、盲学校では体験することの少ない、集団での活動を十分味わうことができます。



5 特色ある取り組み

～体験活動の充実～

- ◆墨を使った表現活動（鳥取大学生と）
- ◆聾学校との合同マラソン大会
- ◆青翔開智中学校とのフロアバレー交流



など

墨を使った表現活動



マラソン大会



視覚障がいスポーツ

「フロアバレーボール」